



平成 23 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 北 川 精 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 北 川 条 範
 (コード番号 6 3 2 7)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 財 務 部 長 岡 野 宏
 (TEL: 0847-40-1201)

特別損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

特別損失を計上するとともに、平成 23 年 5 月 12 日に発表いたしました業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

PV事業及び賃貸不動産につきまして、現下の経営環境を考慮して収益力の見直しを行った結果、PV事業（平成 16 年 3 月竣工の工場）において 54 百万円（連結・個別）、賃貸不動産（連結子会社に賃貸している工場）において 117 百万円（個別）の減損損失を特別損失に計上することといたしました。

なお、賃貸不動産の 117 百万円につきましては、個別決算上のみの計上のため、連結業績への影響はありません。

2. 通期業績予想の修正

(1) 連結業績予想と実績値の差異（平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,400	△640	△700	△750	△107.79
今回の実績値 (B)	5,832	△989	△1,066	△1,166	△167.58
増減額 (B - A)	△568	△349	△366	△416	
増減率 (%)	△8.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	3,756	△985	△956	△1,818	△261.31

(2) 個別業績予想と実績値の差異（平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,550	△545	△625	△715	△102.76
今回の実績値 (B)	4,972	△925	△1,017	△1,276	△183.48
増減額 (B - A)	△578	△380	△392	△561	
増減率 (%)	△10.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	2,800	△861	△912	△1,814	△260.78

3. 差異の理由

【個 別】

産業機械事業において、一部大口案件の翌期への延期、及び予想以上の円高進行と低採算物件による利益率の悪化が発生いたしました。また、P V事業において、工場稼動開始が当初予想以上に遅れたため、先行して発生した費用をカバーできませんでした。

前述 1. に記載のとおり、特別損失に減損損失 171 百万円を計上いたしました。

以上により、売上高 4,972 百万円、営業損失 925 百万円、経常損失 1,017 百万円、当期純損失 1,276 百万円といずれも予想を下回りました。

【連 結】

売上高・利益の差異要因は、個別に記載のとおりであります。また、前述 1. に記載のとおり、特別損失に減損損失 54 百万円を計上いたしました。

以上により、売上高 5,832 百万円、営業損失 989 百万円、経常損失 1,066 百万円、当期純損失 1,166 百万円といずれも予想を下回りました。

4. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	第 4 四半期末	合計
前回予想 (平成 23 年 5 月 12 日)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 6 月期)	—	0.00	—	8.00	8.00

5. 修正理由

当社は、財務体質の強化と今後の事業展開への対応を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の維持を基本方針に、株主の皆様への利益還元を充実していくことが、重要な経営課題であると認識しております。

しかしながら、期末配当につきましては、ここ数年来の当社グループの業績等を勘案いたしまして、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

今後の配当につきましては、業績の回復、収益力の向上に全社員一丸となって鋭意努力して安定的な黒字化を実現し、早期に復配が行えるよう努力してまいります。

以 上